

山行報告書

神戸勤労者山岳会

1. 参加者 尾崎・丸尾・矢古宇・松井・野田

2. 山城／ルート 大峰・前鬼川本流

3. 交通手段 自家用車

4. 行動記録

<入山日 H28 年 8 月 27 日。 下山日 年 月 日>

第1日 7:40 入溪～10:00 黒谷出合～12:00 昼食～13:00 ピストン 谷を下降
14:00 遡行終了

第2日

第3日

第4日

5. 山行中の問題点・事故に繋がる要因

a) 予定のルート・日程で行動出来たか？

予定ルートはずれた場合、あるいは日程が異なった場合はその理由
予定通り

b) 事故に繋がりそうな要因（ヒヤリハット）が発生したか？

発生した場合、具体的に記す

Aさんが足を滑らせて淵に落ちた際、ザックが浮き上がり、ヘルメットが頭を、チェストベルト（胸部分のベルト）が首辺り絡む状態になり、遊泳出来ない状態になった。

Aさんは、ヘルメットを外すことが出来たが、チェストベルトを外す事が出来なかった為、溺れそうになったのが原因（ウエストベルトは外していた）

c) パーティーで、山行中の事故に繋がる要因につき、山行後検討したか？

今後はチェストハーネスを外しておくことが望ましいと判断

6. その他、ルートに関する情報・気がついた事など記す

報告者氏名 尾崎昇

H28 年 8 月 29 日

